

令和3年を迎えて

令和3年の学校生活が始まり2週間が経過しようとしています。新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらない不安な社会情勢の中でのスタートとなりました。現在、茨城県では、県独自の緊急事態措置（対策）期間を設けており、学校の教育活動もこの措置に基づき実施しています。県や市が主催する行事が中止になり、学校の部活動も大幅な活動制限を余儀なくされています。

このような厳しい状況ではありますが、生徒たちは毎日落ち着いた様子で学校生活を送っています。一刻もはやく状況が好転することを祈りながら、今できることややらなければならないことに全力で取り組んでほしいと願っています。



大型モニターの導入

国や県が現在実現を目指しているのが「GIGA スクール構想」です。これからの時代、PC 端末は筆記用具やノートと並ぶマストアイテムとなります。社会のあらゆる場所でICTの活用が日常化している現状を踏まえ、学校でもデジタル化を推し進め、個別最適化された学びや創造性を育む学びの実現を目指します。

具体的には、今後各学校で在校生数分のタブレット端末を導入し、子どもたちが適切・安全にICTを使いこなすことができる力の育成に努めていきます。さらに、タブレット端末を授業に生かすという点では、大型モニターの活用が効果的です。順次全学級に大型モニターが配置される予定です。先ず学年1台ずつ65型のモニターを導入いたしました。

1月14日（木）、令和3年度に実施予定の全日本中学校国語教育研究協議会 茨城大会のためのプレ授業を本校で行いました。1年1組の国語の授業で初めてこのモニターが活用されました。まだ、本格的な使用には至っておりませんが、子どもたちの効果的な学習のために大いに役立てていきたいと考えています。



中学生の頃

第1学年2組担任 河江 菜里

部活動・・・バレーボール部に所属していた。うまくはなかったがいつも真剣に取り組んでいて、上からのサーブが入るようになった時は本当にうれしかった。

勉強・・・数学と理科だけは必死に勉強していた。英語もしっかりやっておくべきだった。大変なことも多かったけれど、頑張ることを学べた中学校生活だった。

だいち学級担任 鈴木 航太

野球を何よりも第一に生活を送っていた。野球のためならいくらでも早起きすることができた。野球のために、嫌いな野菜も食べた。あの高校で甲子園に行くと決めてからは、勉強にも力を注いだ。素振りを夜の日課にしていたが、大会が近づくと、公式戦用ユニフォームを着て素振りをした。減多になかった休みの日も、もっと強くなりたくてチームメイトと集まり野球をした。自分の世代でもないのに、なぜか長嶋 茂雄に憧れていた。